

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	パワー・トルク	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.489	△RG	0.054	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

テストボール：パワー・トルク

フレアーの幅 インチ

表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

PAPからピンとの距離

4-1/2 インチ

番

研磨剤

比較対照ボール：コマンド

フレアーの幅 インチ

表面加工

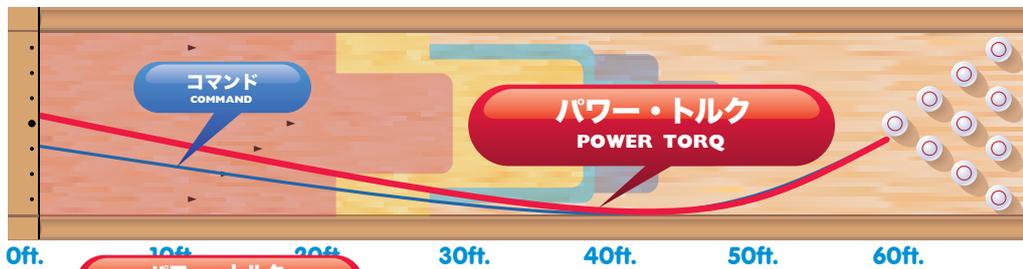
- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

PAPからピンとの距離

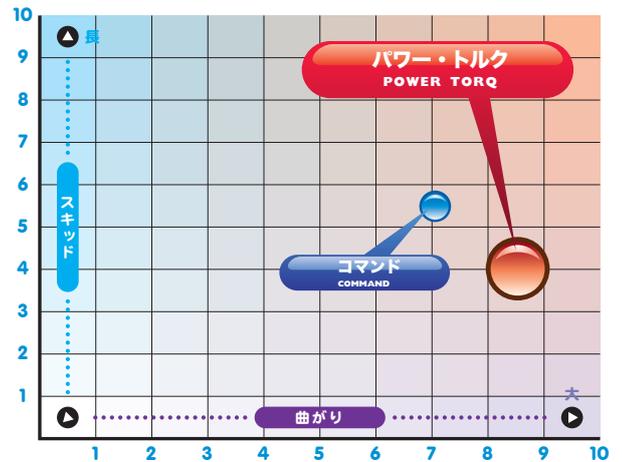
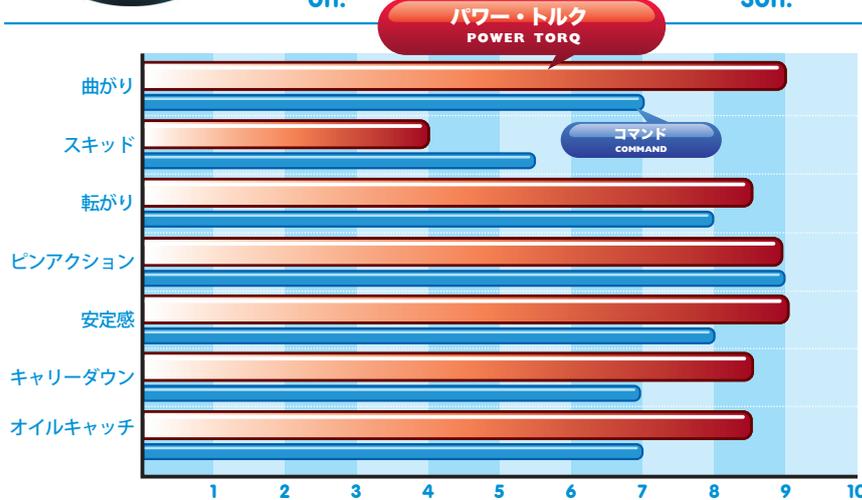
4-1/2 インチ

番

研磨剤



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



レーンコンディション

バックエンドリアクション

レンジス

ボールの評価

スコアメイクに欠かせないボールとは。それはオイルに対し安定感があり、曲がり易く、何よりポケットに集まりやすい性能。一見派手さは無いものの、このようなボールがボウラーを支えているのも確かです。このPOWER TORQは新開発のTORQコアとERT Solidカバーストックを組み合わせ、フランチャイズのコンディションに留まることなく、プロのスポーツコンディションまでを視野に入れ、曲がるイメージを持たせながら、曲がり方や軌道イメージを徹底的に分析してパフォーマンスとして表しました。テストした第一印象は、コアの動き方とカバーストックの組み合わせの相性が抜群に良いと思いました。カバーの強さだけが主張するのではなく、キャッチの中に転がりをしっかり感じ、コアの動力とカバーのキャッチ双方で絶妙に駆動されているのを感じます。強めのカバーに転がり易いコアの組み合わせは、最後に曲がり易いイメージがありますが、曲がり易いイメージどころか、もの凄く力強いピンヒットを与えてくれるイメージさえ感じます。曲がり始めがやや早くてもしっかりと奥まで駆動して曲がり続けるイメージのボールを作るのはなかなか難しいのですが、POWER TORQは見事にその課題をクリアしています。カバーストックの開発は急激に進み、飛躍的にパフォーマンスが向上しています。このPOWER TORQもそのひとつであり、今までのCOLUMBIA300のボールとの比較だけでなく、他社のキャッチ系のボールと比べても引けを取るところか、優位に感じる部分が多々あることでしょう。DynamicoCoreとの連動で他社メーカーと比べストライク率が高い傾向も好印象です。

特記事項

キャッチ感と転がるイメージ、リアクションは高いレベルで仕上げられ、しっかりと曲がりの中に安定した軌道イメージが湧くボールです。